

《病院理念》信頼される全人的医療

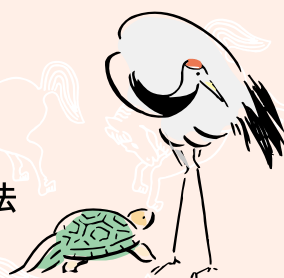
《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報の保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します



新年のごあいさつ

京都府立医科大学附属北部医療センター
病院長 中川正法



新年、明けましておめでとうございます。

京都府立与謝の海病院が京都府立医科大学附属北部医療センターになって、初めての新年を迎えました。

昨年(平成25年)4月の京都府立医大附属病院化に伴い、地域住民の皆様、関係医療機関ならびに行政関係者の皆様には何かと御高配、御配慮をいただきました。昨年4月1日に私が京都府立医科大学の神経内科教授から病院長として赴任して以来、「信頼される全人的医療」を基本理念として掲げ、患者さんを中心とする全人的医療を目指して職員全員が一丸となって取り組んで参りました。この間、府民公開講座(4回)、女性病棟開設、「もの忘れ外来」や、「総合診療科」の開設、救急診療機能の拡充、救急ワークステーション試行、病院間協定の締結などを行って参りました。これらの取組とも相まって受診患者さんは増加傾向になっております。

施設の老朽化に伴う様々な課題もあり、皆様にはご不便をおかけする点多々あるかと存じますが、今年も専門性と総合性を備えた医療サービスを提供させていただき、皆様に愛される地域中核病院として更なる飛躍を目指したいと考えております。

今年は午歳(うまどし)で甲午(きのえうま)です。三国志の赤兎馬(せきとば)のように颯爽(さっそう)と一年を全力で駆け抜けたと思います。

平成26年が皆様にとって実り多き年になりますよう心より祈念しております。

今年何卒もよろしくお願い申し上げます。

平成26年 元旦

【第3号の内容】



- 1 ページ ● 新年のごあいさつ……中川正法病院長
- 2 ページ ● 救急機能向上工事 ● 職員募集
- 3 ページ ● ナースのお仕事 2……木村陽子師長 ● 一口レシピ
- 4 ページ ● 診察室「神経内科」……丹羽文俊医長
- 診療科紹介「臨床工学科」……伏木裕一技師
- 5 ページ ● 地域医療連携室「かけはし」
- 6 ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報



〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
<http://nmc.kpu-m.ac.jp/>

救急機能向上工事

救急機能を向上するための工事などを行っています。この工事で何がかわるのか、工事の全貌をお知らせします。

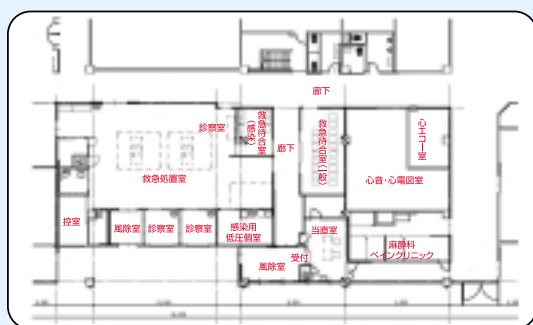
工事でここが変わる！ 変わった!!

①内視鏡室

(平成24年度完成)

上部消化器の内視鏡室を下腹部内視鏡を行う放射線透視室の向かいに移転整備しました。

部屋は明るく、広く、プライバシーに配慮した作りとなっています。



救急室完成予定平面図

②救急室

(平成25年度完成予定)

救急室を全面改装し拡張します。患者さんのプライバシーに配慮するとともに、スタッフの一層迅速な動きを考慮したレイアウトとなります。救急室前トイレも洋式で使いやすくなります。

③集中治療室

(平成25年度完成予定)

機能向上のため集中治療室のうち2室を改装します。また家族待合室も改装し使いやすくなります。



現在2~3階部分を工事中

④本館外壁

(1階部分平成24年度完成、
2~3階部分平成25年度完成予定)

外壁の塗装を新しくしています。春には鮮やかなクリーム色の外観となります。

工事中につき、大変ご迷惑をおかけしています。



職員募集中！ 看護師・薬剤師・作業療法士

当センターでは現在、正規職員(看護師)、期限付職員(看護師、作業療法士)、非常勤嘱託職員(薬剤師)、臨時職員(看護師)を募集しています。条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課
☎0772-46-3371(代表)



ナースのお仕事 2

— 木村 陽子 C5 師長 —



今回はC5病棟看護師長をしている木村師長をご紹介します。
 (きむら ようこ：平成23年から当院勤務、C5師長は平成24年4月から)

質問1：看護師になろうと思った理由は？(きっかけになった出来事など)

木村：小さいころから人のお世話をするのが好きでした。「おせっかい」な性格と何より人と関わることが大好きだったので、進路選択の時、賛成も納得してくれました。

質問2：看護師になって、感じたことを印象深い順に3つ教えてください

木村：私は長い間、看護教員をしていました。そこでは学生との関わりにおいて、貴重な経験をすることができました。今、現場で看護を通して患者様やご家族と関わらせていただく中で思いに寄り添うことの大切さを実感しています。それは看護教員でも看護師であっても同じだと思います。その時々のお会いを大事に「人と人」との関わりを大切にしていきたいと思っています。

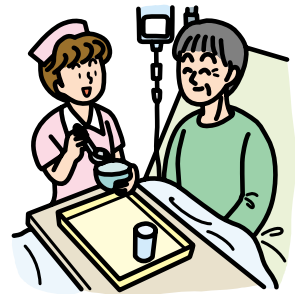
質問3：貴方のナースのお仕事を教えてください(部署、専門分野、など)

木村：呼吸器内科の病棟に勤務をしています。入院患者様は慢性閉塞性肺疾患や肺がんの患者様が多く、苦痛の緩和や在宅療養に向けての支援などを行っています。他には教育委員会に所属し、卒後教育部門のラダー委員会で看護師の教育の企画・運営をしています。また緩和ケア委員会も担当しており、がん患者様やご家族の苦痛が緩和されるようにチームでラウンドをしたりケアに取り組んでいます。

質問4：看護師として今、一番感じることはなんですか(地域医療、医療問題、など)

木村：入院患者様の多くがご高齢の方です。入院をきっかけに住み慣れた自宅や地域で生活することが困難になることもあり、退院支援の難しさを実感します。少しでも患者様やご家族の希望に沿うような支援や調整をしていきたいと思っています。

長年、現場から離れていたこともあり、皆さんに教えて頂きながらの日々です。フットワークはいい方です。元気に走り回っています。今後ともよろしく願いいたします。



一レシピ 「八幡巻き」

★京都南部の八幡市はゴボウの産地です。この地方ではゴボウを巻いた食物を「八幡巻き」と呼びます。

今回は、軟らかくて食べやすく彩りもきれいになるようゴボウの代わりにインゲン豆と金時人参を使った「若鶏の八幡巻き」を紹介します。

【材料：4人分】

- 若鶏もも…2枚
- 水…1000ml
- 醤油…60ml
- 日本酒…60ml
- みりん…60ml
- 砂糖…20g

【作り方】

1. 若鶏は厚みが均一になるように切り開く。
2. 皮を下にして1cm角の棒状に切った金時人参とインゲン豆を交互に置いてくるくる巻き、たこ糸でしばる。
3. フライパンに薄く油をひき、焼き目をつけて醤油、砂糖日本酒、水の入った鍋に入れて30分炊きます。
4. 3の中にみりんを入れて10分炊きます。(みりんは肉を固くするので後で入れる)
5. 冷ましてから切り分ける。



常菜食



診察室

「神経内科について」

神経内科 医長 丹羽 文俊



どのような症状の患者様をみている？

神経内科で診る主な症状は、頭痛、しびれ感・脱力、ふらつき・めまい、歩きにくさ、もの忘れ、意識障害、けいれん・筋硬直、ふるえ、筋肉のやせ、嚥下障害、呂律障害、などがあります。脳梗塞、認知症、パーキンソン病など、生活習慣病や老化と深く関わりのある病気を多く診ております。詳細な問診と診察で丁寧に診断していくよう心がけております。近隣の開業医先生からのご紹介も受け付けており、他院との密接な連携もっております。

患についても、内服治療、ボツリヌス療法など、積極的に治療に取り組んでいます。

ただ薬を処方することだけが治療ではありません。日常生活やリハビリテーションの指導、環境整備も進めております。また、できるだけ分かりやすい説明で患者様に病気についての正しい理解を深めていただき、病気を予防していくためにどうしていくべきかといった健康教育活動にも力を入れております。

どのような治療をしている？

当院は急性期病院であり、脳梗塞の急な発症にも迅速に対応しております。急性期画像診断や点滴加療・リハビリテーションはもちろん、発症から4.5時間以内の超急性期では血栓溶解療法も取り入れております。また、神経難病を中心とする慢性神経疾



診療科紹介

—臨床工学科—

技師 伏木 裕一

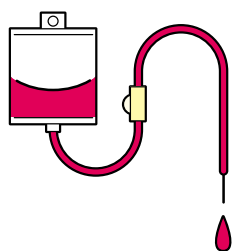


臨床工学技士とは

「臨床工学技士」とは、1987年5月に制定された「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格です。医師をはじめ、看護師等と共に医療機器を用いたチーム医療の一員として生命維持をサポートしています。

業務内容は「生命維持管理装置」の操作および保守点検を行うものとされています。「生命維持管理装置」とは、人の呼吸・循環・代謝といったような生命の維持に直接つながる機能を代行したり、補助したりする装置のことです。具体的に呼吸に関しては呼吸が出来なくなった患者様に対して人工呼吸器を装着して呼吸を行ったり、循環に関して心臓の手術のとき一時的に心臓を停止させる場合、人工心肺装置を用いて患者様の心臓と肺の機能を代行したり（テレビで放映されていた“チーム・バチスタ”で手術の時に機械を操作していた人です）、代謝に

関しては腎臓の機能が低下した患者様に対して血液浄化装置を用いて人工透析を行う業務です。現在では、「生命維持管理装置」だけでなく医療現場における医療機器全般を対象とするようになってきています。上記以外に手術室業務・集中治療室業務・心血管カテーテル業務・医療機器管理業務など業務拡大してきています。今後、更なる知識と技術の向上を目指し専門性を追求するとともに、院内における多くの医療器械が安全に使用することが出来、それが医療の安全、患者様への安全につながっていくよう努力していきたいと思っております。



伏木 裕一（ふしき ゆういち）
プロフィール

- 看護師
- 臨床工学技士
- 救急救命士
- 呼吸療法認定士
- 透析技術認定士

地域医療連携室「かけはし」

初診の方は「紹介状」をお持ちください！

初診の外来患者さんには、かかりつけ医や他病院からの「紹介状」(診療情報提供書)の持参をお願いしています。紹介状があると、あらかじめ病状を適切に評価されているため、治療を円滑に行うことができ、外来の待ち時間の短縮にもつながります。ご理解、ご協力をお願いします。

附属北部医療センターの「紹介患者事前予約制度」をご利用ください。

(1) かかりつけ医から附属北部医療センターへ紹介

かかりつけ医には、当院の専門的な医療が必要とされた場合には、当院への紹介をお願いしています。当院へ来院される場合、**かかりつけ医を通して事前予約(紹介患者事前予約制度)**していただきますと、少ない待ち時間で診療・検査を受けていただけます。

(事前予約無しでも受診できますが、一般の患者さんと同様にお待ちいただくことになります。)

(2) 附属北部医療センターからかかりつけ医へ紹介

当院で検査・診察が終わり、治療方針が決定したり、症状が安定した患者さんは、ご事情をお伺いして、かかりつけ医にご紹介いたします。

※「紹介状」のない初診の患者さんには、診療費とは別に2,100円をご負担いただいています。

(厚生労働省では、病院と診療所の機能分担を進めており、この料金も「保険外併用療養費」に基づいています。)

京都市立医科大学附属北部医療センターに登録されている「かかりつけ医」一覧表

医療機関名	住所	医療機関名	住所	医療機関名	住所
宮津市(南部：市街地及び周辺)		伊 根 町		京 丹 後 市 (峰 山 町)	
味見診療所	吉 原	伊根町国保伊根診療所	日 出	新谷医院	杉 谷
今出クリニック	柳縄手	伊根町国保本庄診療所	本庄上	高田医院	杉 谷
宇野医院	惣	与 謝 野 町 (加 悦)		中江医院	白 銀
岡所・泌尿器科医院	惣	伊藤内科医院	算 所	京 丹 後 市 (大 宮 町)	
佐藤医院	京街道	岩破医院	算 所	京丹後市国保直営大宮診療所	河 辺
中川医院	漁 師	木村内科クリニック	後 野	たんご協立診療所	河 辺
中川内科	鶴 賀	日置医院	加 悦	ふじわらクリニック	周 枳
中村眼科医院	魚 屋	与 謝 野 町 (岩 滝)		安井医院	口大野
浪江医院	宮 村	いとうクリニック	男 山	京 丹 後 市 (網 野 町)	
西原医院	京街道	大森内科診療所	弓 木	上田医院	網 野
宮地外科医院	波 路	衣川整形外科医院	岩 滝	宮地外科医院	網 野
山根医院	鶴 賀	やまぞえこどもクリニック	岩 滝	山本医院	網 野
栗田診療所	上 司	与 謝 野 町 (野田川)		京 丹 後 市 (丹 後 町)	
宮津市由良診療所	由 良	いわさく診療所	四 辻	京丹後市国保直営間人診療所	間 人
宮津市(北部：府中・日置・養老)		須川医院	下山田	村田内科医院	成願寺
府中診療所	府 中	鳥居クリニック	三河内	京 丹 後 市 (久美浜町)	
日置診療所	日 置	与謝野町立国保診療所	石 川	齊藤医院	浦 明
養老診療所	養 老			齊藤医院 湊分院	湊 宮

(休止中を除く。順不同 H26.1.1現在)

外来各科診察担当医表

(平成26年1月1日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合診療科	時田和彦 准教授 (副院長)	高田博輝 助教 (医長)	担当医	時田和彦 准教授 (副院長)	石野秀岳 講師 (医長)	
12	呼吸器内科	大月亮三 助教 (医長)	大月亮三 助教 (医長)	大月亮三 助教 (医長)		大月亮三 助教 (医長)	
13	消化器内科	玄 泰行 助教 (副院長)	福井勇人 助教 (医長)	城 正泰 助教 (医長) (肝臓)	福居顕文 助教 (副院長)	土肥 統 助教 (副院長)	
14	循環器内科	谷口琢也 助教 (副院長)	川人浩之 助教 (副院長)	高田博輝 助教 (医長)	木下英吾 助教 (副院長)	岸田 聡 助教 (副院長)	
15	神経内科	丹羽文俊 助教 (医長)		(第1 午後) 中川正法 教授 (病院長) (もの忘れ外来) (予約)	丹羽文俊 助教 (医長)	中川正法 教授 (病院長)	
26	精神科	西澤 晋 助教 (副院長)	上村 宏 准教授 (医長)	上村 宏 准教授 (医長)	上村 宏 准教授 (医長)	西澤 晋 助教 (副院長)	
23	小児科	小坂喜太郎 准教授 (医長)	吉田秀樹 助教 (副院長)	(1,3,5週) 小坂喜太郎 准教授 (医長) (2,4週) 小川 弘 講師 (医長)	1診 諸戸雅治 助教 (副院長) 2診(第2,4午前) (予約) 栗原康通 講師	小川 弘 講師 (医長)	
18	外科	1診	中村憲司 講師 (医長) (乳腺・新患)	石本武史 助教 (副院長)	當麻敦史 講師 (医長)	中村憲司 講師 (医長)	落合登志哉 准教授 (副院長)
		2診	荻野真平 助教 (医長)		藤田周平 助教 (医長)		(第1) 増田慎介 医師 (第2,4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	(1,5週) 吉田隆司 講師 (医長) (2週) 森崎真介 助教 (副院長) (3週) 細井邦彦 助教 (副院長) (4週) 城戸優充 助教 (副院長)	城戸優充 助教 (副院長)	森崎真介 助教 (副院長)	吉田隆司 講師 (医長)	細井邦彦 助教 (副院長)	
17	脳神経外科		山中龍也 教授 (隔週) 関本達之 特任教授 (隔週)	山中龍也 教授 (隔週) 関本達之 特任教授 (隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師 (隔週) 瓦葺健太郎 医師 (隔週)	
19	眼科	1診	水野連太郎 助教 (副院長)	糸井素啓 助教 (医長)	小嶋健太郎 助教 (医長)	小嶋健太郎 助教 (医長)	水野連太郎 助教 (副院長)
		2診	丹羽匡世 助教 (副院長)		丹羽匡世 助教 (副院長)	糸井素啓 助教 (副院長)	
20	産婦人科	辻 哲朗 助教 (医長)	沖村浩之 助教 (医長)	片岡 恒 助教 (副院長)	(1,3,5週) 片岡 恒 助教 (副院長) (2,4週) 沖村浩之 助教 (医長)	野口敏史 准教授 (副院長)	
24	泌尿器科	堀田俊介 助教 (医長)	問山大輔 助教 (医長)	問山大輔 助教 (医長)	堀田俊介 助教 (医長)	問山大輔 助教 (医長)	
25	耳鼻咽喉科	1診	信原健二 助教 (医長)	信原健二 助教 (医長)	二之湯 弦 医師	信原健二 助教 (医長)	齋藤敦志 助教 (副院長)
		2診		齋藤敦志 助教 (副院長)		齋藤敦志 助教 (副院長)	
21	ペインクリニック		(第1,3) 伊吹京秀 講師				
16	皮膚科	今井 慎 助教 (医長)		今井 慎 助教 (医長)	今井 慎 助教 (医長)	今井 慎 助教 (医長)	

●受付時間 ●再診(予約のある方)午前8時から受付開始 ●初診・再診(予約のない方)午前8時30分～11時
●閉診日 土・日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 【急患は、時間外でも診察】

医師異動情報				診療科名		転 出		転 入(平成25年11月1日)	
診療科名	転 出(平成25年8月31日)	転 入(平成25年9月1日)		総合診療科			助教(医師)	福井 勇人	ハヤト
消化器内科	助教(副院長) 井上 健	助教(副院長) イノウエ ケン	助教(副院長) フクイ アキフミ	麻酔科			医 師	嶋本 早希	シマモト
診療科名	転 出(平成25年9月30日)	転 入(平成25年10月1日)		診療科名	転 出(平成25年12月31日)	転 入(平成26年1月1日)			
整形外科	助教(併任) (久美浜病院勤務) ニシク ボヒロユキ	講師(併任) (久美浜病院勤務) 西久保浩之	講師(併任) ツジハラ タカシ	整形外科	助教(副院長) ヨシオカ ナオキ	助教(副院長) 吉岡 直樹	助教(副院長)	キド マサミツ	城戸 優充
麻酔科	助教(医長) タケンタ ジュン	助教(医長) 竹下 淳	助教(医長) ナカヤマ ヨシノブ	整形外科	講師(併任) (久美浜病院勤務) ツジハラ タカシ	助教(併任) (久美浜病院勤務) 問山大輔	助教(併任)	カナムラ ヒトシ	金村 斉

【発行】京都府立医科大学附属北部医療センター (与謝の海病院) 【問合せ先】庶務課
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>
ホームページから“お見舞メール✉”サービスがご利用いただけます。